

岡崎市制100周年記念事業

岡崎まちものがたり：六ツ美南部 D-12

中島説教場（弘法堂）

宗派：浄土宗西山深草派

創建：1900（明治33）年4月25日

所在地：岡崎市中島町新町井龍20

中島説教場は浄土宗西山深草派崇福寺の受持に属している。俗に弘法堂と称する。弘法堂は碧海郡六ツ美村大字中島故高原善四郎大師の徳を慕い、その像を自宅に安置して、諸所を親しく巡り信者の寄付を仰ぎ、八十八体を安置することになった。1902（明治35）年の事である。この経緯の発端は当時の村長や警察から、神仏を安置するのは法律違反との指摘があったことである。寄付者一同協議し、世話人を決め、その世話人が弘法堂建立について評議を行い、遂に1900（明治33）年4月25日を以て、京都本山管長より説教場の許可書を下附された。4月27日入佛式を行った。



160820 弘法堂



160820 弘法堂



160820 弘法堂

[空海（弘法大師）（774～835）]

空海（くわい）は、平安時代初期の僧。弘法大師の諡号（921年、醍醐天皇による）で知られる真言宗の開祖である。俗名（幼名）は佐伯 眞魚（さえきの まお）。日本天台宗の開祖最澄（伝教大師）と共に、日本仏教の大勢が、今日称される奈良仏教から平安仏教へと、転換していく流れの劈頭に位置し、中国より真言密教をもたらした。能書家としても知られ、嵯峨天皇・橘逸勢と共に三筆のひとりに数えられている。

本項は六ツ美村誌からの引用である。

